

2018(平成 30) 年 度

自 2018(平成30)年 4月 1日

至 2019(平成31)年 3月31日

事 業 報 告 書

認定 特定非営利活動法人

北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

目 次

I. 総会に対する社員(含理事)名簿 (略、役員別記)

II. 事業報告書

1. 事業状況～概要、経過
2. 教育実践、諸活動
3. 組織及び執行体制
4. 庶務に関する事項
5. 各事業～定款項目別

III. 決算書

1. 活動決算書
2. 財産目録
3. 貸借対照表及び当期収支差額の処分

IV. 監事の意見書

V. 役員／体制(社員名簿、2019(平成 31)年度事業方針・同予算) (略)

2018(平成30)年度事業報告書 (2018(平成30)年4月1日～2019(平成31)年3月31日)

認定 特定非営利活動法人
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

1. 事業の状況

【概要】

1998年夕張プレスカールの実践を受け'03年にNPO法人認証、以降は定款・設立趣意書に掲げた教育及び各分野活動を基本に、'07年度より新たな展開＝「既存学校法人との“協同＝教育連携”を開始（共育の森学園の再建支援）しました。また'09年度より地球温暖化に対応した《エコハウス》を推進し独自集会や他団体との共同企画を継続しています。

'10年度以降は実践を基盤に、'13年度/15周年行事・認定NPO法人取得、'14年/エコハウス道新エコ大賞奨励賞、'14-15年/『雪国札幌発ECO防災教室』実施&冊子発行、'17年度は20周年イベント・WAM助成モデル事業「つきさつぷり寺子屋」を展開しました。'18年度はスクール初等部拡充・WAM居場所事業継続に加え、「自由な小学校運動」を各地集会で加速させ自治体交渉に繋げてきました。【→新年度:スクール15名規模、助成事業3年目、自治体内定!】年間の推移概要は以下の通り。

【第15年度の経過】

(敬称略)

平成30年(5月26日)平成29年度総会開催

- 同 3月 「フロンティア236号」:常勤理事会「市民立型の“共に育ち合う”学び舎作り」、*年度会費案内
3/17「卒業・修業のつどい」、4名卒業 *共育の森学園:高校3/1卒業・入学4/10・1
- 4月 4/10:新学期、4/末「入学のつどい」*「つきさつぷりプロジェクト」継続。WAM「居場所事業=寺子屋+実家」
- 5月 農業実習:余市教育福祉村/畑借用、畑起し&加「チャトウキヒ」・トマト・ミニトマト・シシトマリ・任・キュウリ・ズッキーニ等苗植え
「フロンティア237号」:副代表・田中「ピンポイントリと歳をとっても楽しみながら・・・」*PCAはうす進行
- 6月 /26-27企画「朝日岳登山・博物館他」、スクール農芸/園芸進行、*道新記事:実家、学生実習:文教大/3回・教育大
「フロンティア238号」:法人・吉野「サッカー、ボールから垣間見るもの」 *自由な小学校5/16.6/2.9.30
- 7月 /18-19キャンプ in 余市教育福祉村、7/-夏期講習+塾講習、*PCAはうす:研修会/北大・宮崎
- 8月 「フロンティア239号」:当面の活動「自由な小学校、9/15環境講演会、PCAはうす」*小学校「趣意書」
余市教育福祉村;収穫、スクール2学期、
- 9月 「フロンティア240号」:童話作家・加藤多一「武四郎をダシにするな」*学生実習:北海学園大
実践20周年アワー企画～環境講演会、[*北海道東部震災による行事調整・建物対応]10月
「フロンティア241号」:法人・大塚「五輪経費などにみる国の税金の使い方」
10/14 さつぷろく子育て教育>フェスタ「シンポジウム」、実委/大塚～あそびの広場・分科会分担、*年末物販パンフ
- 11月 /20-21修学旅行;道南・函館、*「自由な小学校」集会・自治体交渉進行
- 12月 「フロンティア242号」:法人・吉野「居場所とは～“学びと成長支援”のあり方」、
釧路教育大学実習12/17-21～琉球大舎10名による授業・クリスマス行事・泊会・食育、冬期講習会、
12/15:NPO理事会、研修&望年会、*1/10第2回研修会～北星大・河野、学園大・内田、文教大・吉岡
- 平成31.1月 「フロンティア243号」:法人・常勤理事会「新年に～22年目の実践飛躍へ」、
登校日、1/16・3学期、スクール授業、*物販まとめ
- 2月 「フロンティア244号」:法人・吉野「認定NPO法人の認証更新から」、*年次会費依頼
年次説明会:2/9.3/2、「自由な小学校」:12.1月各地説明会・ゆきのさと通信13号、*学生実習:教育大
- 3月 「卒業・修業のつどい」3/16～4名卒業、北海学園大学生参加。スクール春休み、*共育の森学園理事会
WAM「PCAはうす」報告書、*自由な小学校～地元説明会、(+議会説明、協定書準備) WAM東京説明会
- 4月 「フロンティア245号」:法人理事・細田「世の動きと自由な小学校づくり」*4/20小学校集会
4/10 新学期、WAM「子供の未来寄金」採択『AIアイネクスト』『学びあい、創りあい、繋がりあい』
- 5月 「フロンティア246号」:法人理事会・「自由な小学校設立を!市民立の学校運動の呼びかけ」、
5/25「地域自治体問題研究所総会&シンポ「パネラー/細田」、6/1小学校集会 in 札幌西区

2. 教育実践、諸活動

【分掌、運営】

- 1) 基本体制 *別紙「カリキュラム」他
- ◎NPO 本体 常勤役員4名/吉野、大塚、鈴木、廿日岩、社員4名/北、滑川、川島、尾田
 - ◎スクール 学園長:大塚～常勤/丸3名、3日2名、2日2名、1日数名～学生・院生
 - ◎子ども館 [センター長:鈴木]→卒業収束。◎GAOKA塾 責任:大塚+鈴木滑川、小中学生4名→9名。
 - ◎ボランティア 社会人、学生・・・(勤務は上記スクール欄)/+主に寺子屋に複数(一定有償型)

2) カリキュラム&担当

<学科>

- ◎日本語：大塚、鈴木+齊藤
- ◎数学：大塚、川島、吉野
- ◎社会：滑川/歴史、
- ◎理科：大塚・滑川

<総合型>

- ◎地球に生きる科：大塚
- ◎表現科：北、
- ◎人間科：吉野+ゲスト/安藤、
- ◎やってみる科：滑川他 *初等部：常勤/鈴木+他
- ◎体育：全員
- ◎各種行事：常勤、

3) 学期(末)対応

- ・月次 学校：出欠案内。期末：通知表「成長の記録」：記述A4記述3~5枚。年度：「記念作品」制作など

4) 付加、関連業務

- ◎IT~ホームページ管理/北他 ・環境設定、パソコン保守：(アールズホート/寺下)、機器更新：W-7.8+内部XP
- ◎事務所維持(清掃、台所、外周他) ・冬季対応~暖房/ペレットストーブ、水道(冬季)、省エネ/各階、除雪)
- ◎助成 1)札幌市：付加スタッフ・体験メニュー、2)ホートホト：()、3)募金会：普及、4)WAM：居場所

[普及、協同]

1) 普及活動

- ◎普及全般 年次パンフ：「スクール」版2種、「NPO」版+「GAOKA」チラシ~団体新聞折込・集会配布、休3店舗・エプロン
- ◎相談会等 「月次」企画：ホームページ、建物掲示板など、チラシ~上記同様
- ◎イベント ◆道民教：[札幌集会~6月学習会となり個別対応]、(→不登校分科会・合研・親の会・)
<外部> ◆さっぽろ子育て教育フェスタ：毎年10月、実行委員/大塚+滑川他、展示・分科会運営→「報告集」
◆社会教育フォーラム：[(北大社会教育研究室) *ここから韓国/ル学校接点]
- ◎通信発行 No.236-245号~年次10回、会員400名弱+エプロン等配架、郵送/郵便局契約(10月値上)+手渡し

2) 大学、教育機関連携

- ◎実習受入れ ・釧路教育大教育内容方法研究室：従来年4回+卒業立会 ⇒年1回12月。
・居場所「寺子屋」：北大・学園大の社会教育/宮崎・内田教授~学生複数名+天使大。
・個別：北大教育学部院生/発達心理~
- ◎共育の森学園 Y：常任理事、問宮理事長代行~継続中。高校生徒確保急減！対策「地域統合」(→市長教育長接点)
・旧短大施設：図書館開放/毎週火水曜、施設貸出~体育館・IT教室・貸事務所/FM他、
<政策テーマ>・自由が丘推薦~H25/3、H26、H27/1、H28/1、H29/1、H30/0、旧短大=2千坪施設活用法模索

3) 他団体 [都度調整]

- NEPA 新エネルギー普及促進協会：「冊子」協力、後援「18.9/15小島講演」 ・NERC コンサル：Y相談役、
- 余市教育福祉村：農場利用・Y監事~今後の体制や利活用検討 *「教育による地域活性の可能性」
- 地域自治体問題研究所：(小田理事長)Y理事、*教育テーマでの講座・分科会企画

[特記/再掲]【「エコハウス」の取り組み】 [再掲]

- ~2010：北海道「グリーン・ビズ事業所」認定、
- ~2012：札幌市環境賞「優秀賞」受賞、同年・郵便事業「建物改築=外壁修理」、
- ~2014：北海道新聞エコ大賞「奨励賞」受賞、 * [道環境教育学会~経由] 月刊「工業教育3月号」寄稿
- ~2014-15：さっぽろ発「ECOエネルギーで防災教室」11.2月2回実施、北大・天使大の教官協力
- ◆2011.3/11 原発事故以後、自然エネルギー導入が大事な社会テーマ。加えて脱原発は環境保全&地域再生の21世紀的課題。
・視点① 北海道の条件~一次産業・地域振興と結合したプロティアへ ==> 自由が丘；都会での“先進基地”
・↓ ② 泊・大間原発~活断層・ブルマル・温排水・廃棄物蓄積など ==> 停止、廃棄への可能な接点・連携
- ◆自由が丘センターの現状 注：自家発電はまず建物消費 → 余剰分は売電(不足は買電)
・【ソーラーパネル】 ——> 小さいけれど市民発電所、電気約50-60%削減+省エネ/生徒パネ。ローン14年完済
・【ペレットストーブ】 ——> 冬季暖房を化石燃料で環境負荷を低減中、バイオマス資源の地産地消推進
*トータルでCO2約▲7.0%、引き続き環境教育や地域開放=サテライト促進。~HP、市民講座、研究機関連携
・【照明LED化】 ——> 蛍光管約90%LED=従来機器寿命・省エネ⇒電気代△80%・15年保証・×虫・×破損
- ◆資金 09-10年：寄金等72万(+借入百万)、はまなす財団30万、11年：個別(秀岳荘、酒井・田中・廿日岩・小野さん)
LED分：96万→54万、頭金10万-販促8万、ローン5年；9,100円。 *電気代1万→「7.8千」円位。
- ◆今後、将来展望 *長野、宮城など各地取り組みあり *夕張の土地/転用可能性

- ・100%自然エネルギーの施設 ⇒ 追加的ソーラーパネル導入、雨水利用、(屋上)緑化、省エネ・
- ・暖房・発電の市民ファンド展開 ⇒ 市民からの基金蓄積→導入施設募集/教育文化団体→融資/回収

3. 組織及び運営・執行について

【概要】

基本となる教育実践・普及・エコハウス推進、小樽の学校法人再建支援等により、自由が丘理念の具現化に努めてきました。通常は月寒スクールを基盤に、「子ども達が学び・成長する主体」の学び舎・運営を持続しながら、週末型の地域居場所＝寺子屋・実家展開も行いました。(初等部生徒・GAOKA 塾増加中。居場所は各 30 回以上開催)

普及活動では各種教育集会の役割分担&実践紹介や周年記念講演会運営に加えて、自由が丘の“創立時精神”再度掲げた『新たな小学校設立運動』を本年発信してきました。組織面では13年『認定NPO法人』認可5年後更新を11月手続き達成、又助成事業による整備も持続中です。(他方、寄付特典/還付で財務プラス反映という大きな成果は途上)

(1) 会員の推移

1) 正会員：会費を、個人 5,000 円・団体 50,000 円納入。役員 11(前年 11)、社員 7(〃 7)、下記は納入者。

①役員：11名(監事含、過年納入含) ②社員：6名(新規者3千円) ③法人：7団体/ 継続7団体
和光(2回)、秀岳荘(2回)、岡本建設、知床第一ホテル、幌村建設、佐々木総業、りんゆう観光、小計24名・社

2) 賛助会員：会費を、個人 3,000 円・法人 30,000 円納入 *～前年は2)・171名、3)・31名。①～⑤計226名。

④個人： ⑤大口/赤塚、河原、弁護士事務所他、株新倉屋/2万、小計212名・社、以上①-⑤合計：236名・社

3) 寄金⑥ 会費 3,000 円に加算して納入：納入額+2000～7,000 円以上なども相当数 小計：(29)名

*現状は2)扱い、希望により1)の②へ転換。——> 財政「収支決算書」参照。尚H31年度は4/10現在～「33」名。

(2) 会員の構成、拡充

1) 正会員 ・役員社員～元発起人、会員有志、理事紹介、スクールスタッフ等。

2) 賛助 〃 ・通信購読～スクール父母、教育関係者等(寺子屋・実家関係者)。*他方、逝去や「高齢者」区切り申し出・・

(3) 執行体制

◎役員(敬称略) ・代表理事 2名、理事 9→9名、監事 2→2名、内訳：代表/吉野・大塚、副代表/田中(非常勤)、
・執行部：代表理事、分掌理事、常勤スタッフ、 : 監事/吉田・廿日岩、

◎基幹会議 ・勤務員会議：事務局メンバー週次 (常勤) スタッフ会議；月・金曜 月次スタッフ会議/月末
・その他会議：学期区切り研修付加。ボランティア＝サポートスタッフとの情報共有。

4. 庶務に関する事項

1) 北海道庁(監督官庁)等への申請など

・平成30年 5月、総会承認事項、所管/札幌市 (+登記手続きはなし)。

2) 第1回理事会：平成30年 5月26日開催(総会時)【出席】7+2名、+(委任2)スタッフ/社員同席

3) 第2回理事会：平成31年12月15日開催(研修兼)【出席】6+2名、+(↓1)スタッフ/社員同席

5. 各事業：定款活動分野による記載：下線が骨子。

第1/子ども・青年の教育機会提供・支援、第2/各種研修企画、第3/教育相談、第4/協同交流、第5/広報・出版活動。

1) 学習活動への援助：各スクールの授業・行事の企画提案、運営、参加。

・スタッフ支援；教科担当など約3～5名分をサポート。他に団体や集会講師対応等

・学生受入れ：釧路教育大総合実習～12月(通算101回-)、他大学等/北大・学園大・文教大・教育大札幌。

2) 教育推進者支援：スタッフと役員など支援者・推進者向け研修。

・役員、スタッフ研修会開催；学期毎、(独自企画、外部企画参加) ・理事会併催；新しい認可小学校運動(細田

・(一般向け)教育研修開催；教師塾～教育大/年1回、寺子屋研修会/年2回、大学生・若手スタッフ対象

3) 教育相談：月次案内、個別相談受け入れ。専門家連携。

・学期毎の案内、年次説明会開催；2.3月。月次相談会；各2回+体験会、個別；電話等の相談対応。

・案内、受付；月次/ホームページ、チラシ配布、建物掲示板 *進路指導～高校情報(+見学引率)

4) 協同交流活動：他団体集会の事務局対応・分科会参加(+独自企画)。

・民間教育集会の運営分担・レポート；札幌子育てフェスタ/実行委員(事務局)、月寒九条の会/世話人、つきさつぷPメンバー

・民間組織連携；NPO余市教育福祉村/相談役、道地域自治体問題研究所/理事、共育の森学園/理事、

5) 研究・講座等：(研究所包括テーマ)

・実践記録を通信等に紹介；教育大授業レポート、教育エッセ、発達支援報告、・独自企画：自然エネルギー普及「エコハウス」

・ブックレット：北海道発教育提言 No.1-11+「雪国 ECO 防災教室」。*通信「巻頭言等編集＝普及用」検討

6) 広報・他：

・「通信」定期発行：年次9-10回、活動支援グッズ＝物販、 ・ホームページ更新：新スタイル発信/生徒実践ページ

・独自チラシ、パンフ等：年次作成、エリア配布/地域団体折込み、エルゴラザ＝市民活動センター/常設。*公的助成/市他

財産目録

2018(平成30)年度特定非営利活動に係わる事業会計財産目録

2019(平成31)年3月31日

認定 特定非営利活動法人
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会
単位:円

科目・摘要	決算額		備考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	22,557		
預金	1,984,631		北洋銀行 1,222,698、労金
流動資産計		2,007,188	1,093、郵貯銀行 760,840
2 固定資産			
備品等償却資産		355,000	
固定資産計		355,000	
資産合計			2,362,188
II 負債の部			
1 流動負債			
繰越収支差額			
前受金	954,000		
短期借入金	320,000		
出資信託金	890,000		
預り金	2,355		
流動負債計			2,166,355
2 固定負債			
固定負債計			
負債合計			2,074,661
差引正味財産			195,833

貸借対照表

2018(平成30)年度特定非営利活動に係わる事業会計財産目録

2019(平成31)年3月31日

認定 特定非営利活動法人
北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

単位:円

科目・摘要	決算額		備考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	22,557		
預金	1,984,631		北洋銀行 1,222,698、労金
流動資産計		2,007,188	1,093、郵貯銀行 760,840
2 固定資産			
備品等		355,000	
固定資産計		355,000	
資産合計		2,362,188	
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	954,000		
短期借入金	320,000		
出資信託金	890,000		
預り金	2,355		
流動負債計		2,166,355	
2 固定負債			
固定負債計			
負債合計		2,074,661	
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	147,022		
当期正味財産増加額	48,811		
正味財産合計		195,833	

注:短期借入は繰越しとなった。(他方、事務所代は通年処理。前年は12-3月分研究所負担)

3. 当期収支差額の処分

当期収支差額 195,833円は、次期繰越とする。